

清和台自治会（兵庫県）

活動地域の紹介

皆さん、こんにちは。私たちは兵庫県川西市清和台からやってきました。私は発表者の川井です。清和台自治会相談役を務めております。

本日は、私どもの防犯活動について、防犯カメラを中心に報告いたします。まず、地域の紹介です。清和台は大阪府と境界を接する兵庫県川西市の北部に位置し、我が清和台自治会は人口約1万4千人を擁するマンモス自治会です。近くには清和源氏発祥の地である多田神社があり、桜並木が町のシンボルです。

本日は、地域の底力で犯罪を撲滅というテーマで、防犯カメラの設置の背景、次に行政の認可と工事、抑止効果の確認、今後の対応といった順番でお話してまいりたいと思います。



防犯カメラ設置の背景

近隣の自治会である大和、緑台は町のサイズが私ども自治会と似通っている、いずれもマンモス自治会ですが、平成19年の3自治会の犯罪発生状況は、清和台がそれらの自治会と比べ、空き巣にしる、器物破損にしる、発生件数が1.5倍から2倍という最悪の状態で、対策の必要性を痛感し、防犯カメラに着目した契機となりました。

まず、防犯カメラ設置にあたり、資金的なことに触れておきたいと思います。防犯カメラは、かなり高価なものですので、資金をどうするかを検討していたとき、時期を同じくして軌道に乗ってまいりました資源回収の収益に着目をいたしました。資源回収は、回収団体が対象品目である古紙、アルミ缶、布類を回収しますが、資源回収の方法を各戸前で戸別に回収するという方式を採用したことが功を奏し、年間約230万円の安定収益が見込める状態でしたので、自治会費には一切手を付けず、資源回収の収益だけで防犯カメラを設置する決心を固めるに至りました。

1. 防犯カメラ設置の背景

平成19年（1年分に換算）

単位：件

	清和台交番	大和交番	緑台交番
空き巣	16	11	10
器物破損	35	17	10
車上狙い	6	5	6
オートバイ自転車盗	19	16	14

川西警察署、川西防犯協会提供資料

行政の認可と設置工事

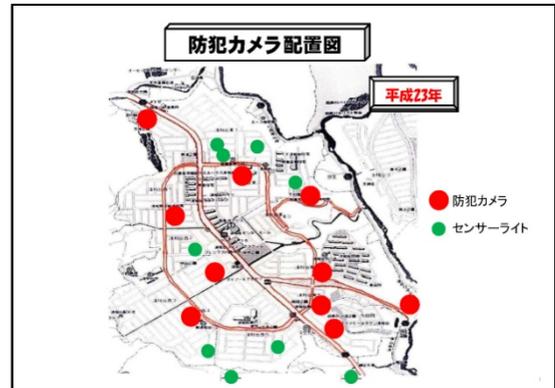
防犯カメラの設置を決めた当初、兵庫県下では、公道に防犯カメラの設置は許可されておらずでした。地域の自費で進めることを基本とし、県と市に交渉した結果、熱意が通じたのか、交渉を始めて3～4カ月でついに行政の認可を獲得することができました。そして、防犯カメラの運用規程を策定するなどして、1号機の設置にこぎ着け、平成 22 年度には県の防犯カメラ補助金制度発足の契機になったことを誇りに思っております。

では、どんなステップで防犯カメラを設置したかという点ですが、清和台地区はこの図を見ていただければわかりますが、中央に県道川西篠山線、地区の外周に赤色で示した周回道路がぐるっと巡っているという道路網で、地区への出入り口が4カ所あります。

まず、平成 21 年には、各出入り口に計4カ所のカメラを設置しました。狙いは清和台地区で仕事を終えた犯人が、清和台から出ていくときには必ずこのどこかの出入り口でその姿が捉えられるということです。センサーライトも3カ所設置いたしました。

次に、平成 22 年に入り、周回道路に防犯カメラを4カ所、これは都合よく清和台自治会館が4カ所に等間隔で位置しておりましたので、ここに防犯カメラを第2段階として設置し、センサーライトも不審箇所と思われる所に追加いたしました。

平成 23 年度には、ニーズの多かった地点に防犯カメラを2台、センサーライト2機を増設し、合計防犯カメラ 10 台、センサーライト9台という体制が整いました。

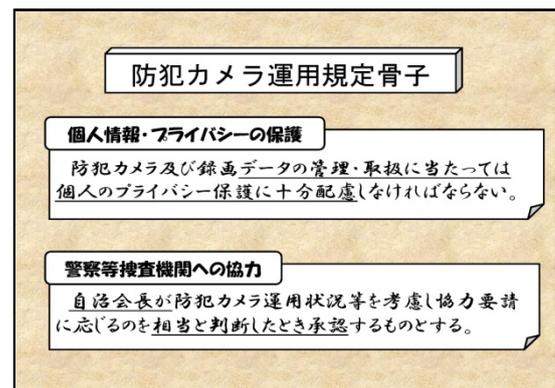


防犯カメラ運用規程の策定と設置費用

地域の法律、専門家のアドバイスを受け、個人情報と捜査機関への協力を主要項目とした 13 項目からなる運用規程を策定いたしました。捜査機関への協力の場合でも、自治会長が判断したときに、初めて承認されるものとし、個人情報保護を担保いたしました。

続いて、防犯カメラの設置費用ですが、カメラ本体と付属機器を含め 150 万円強というのが平均的な値段で、防犯カメラ自体は 17 万円程度です。付帯設備がかなり掛かりますが、県の助成金のおかげで自治会の負担は

35 万円以下で済むことになっております。県の助成は、平成 23 年度は 100 箇所、平成 24 年度は 150 箇所の予定とお聞きしております。また、維持管理費につきましては、電気代と保険料で1台当たり年間1万円ですので、10 台で年間合計 10 万円です。



次に、刑法犯B。これは自転車盗や器物破損といった一般的な街頭犯罪ですが、これも防犯カメラ設置以降、減少傾向にあります。約半減といったところです。また、交通事故についても、人身事故、物損事故共に減少傾向にあり、これも防犯カメラ設置など防犯活動の副次的効果ではないかと考えております。

今後の活動

パトロールと見守り活動の強化が柱ですが、現在特に力を入れて平日2シフトで実施しています青色回転灯装備車両の運行のほかに徒歩パトロールなど、各種パトロールを、今後とも強化してまいりたいと思っております。これはパトロール実施風景の写真です。



その他の改良・強化につきまして、お話します。住民一人一人の防犯意識の高まりが何よりも大切ですが、防犯カメラの設置につきましても、年1台、できれば2台は増設したいと考えております。また、センサーライト、防犯灯などの増強や、挨拶運動の強化も並行して進めてまいりたいと思っております。

最後に、結びといたしまして、これらの活動を通じて感じますことは、防犯カメラは万能ではないということであります。やはり住民によるパトロールなどの取組との相乗効果により、防犯カメラはその効果をより発揮するものだと考えております。また、地域の役割と限界というものもございます。全ての犯罪抑止を我々だけでなし得るものでは当然ございません。警察や関係機関と連携し、今後とも取り組んでいかなければならないと考えております。

なお、近隣自治会との連携であります。これまでの取組で周辺の自治会でも防犯カメラの設置の動きが出てきております。また、滋賀県や県内の他の自治会などからも意見交換を求められ、こういった取組によって、他の自治会との交流も盛んになるというメリットもあり、うれしく思っているところです。

清和台地域から近隣地域を巻き込み、より広範囲へと活動範囲を広げているところです。今後とも安全な町づくりを目指し、地域の絆を一層強めていきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

むすび

防犯カメラは万能ではない ⇨ パトロールと相乗効果

地域の役割と限界 ⇨ 犯罪の抑止

近隣の自治会とも連携 ○○ **他の自治会との交流も盛んに!**

【カメラ設置】
大和自治会、けやき坂自治会、
多田グリーンハイツ自治会

【意見交換】
三田ウッディータウン自治会、三木市口吉川町
滋賀県湖南市、川西北陵自治会

質疑応答

●質問 防犯カメラの効果は大きいなと感じました。特に、町のポイントとなる箇所に設置をされているということで、非常に感心をしました。その運用資金として、資源ごみの回収を町を挙げて行い、その金額も非常に大きくて、さらに感心をしました。その資源ごみの回収の方法をもう少し具体的に教えていただけませんか。

○回答 我々のところも皆さんの地域と同じように、ごみステーションがございます。以前は、ごみステーションにごみを出していましたが、住民の年齢も高くなりゴミ出しも重労働で、それでは困るということから業者と調整して、自分の家の前へ出すと、その分に関しては業者が全て回収して持って帰って売るのですが、その差益を自治会のほうに還元していただくということで、自治会のみに入ってくるお金が、年間二百数十万円あります。あと小学校単位、幼稚園単位で同じように、約 240～250 万を配分しており、自治会が全て取り込むのではなく、子ども会とか、学校関係にも配分している状況であります。

その中から、防犯カメラに一部のお金を使用し、あとは自治会の方々に関しては年2回、ごみ袋を配布したり、それから皆さん方と同じように、ごみステーションにあるごみを入れるネットなどを自治会が半額助成するという形を取っております。